

分野	荒廃山地の復旧等の治山			事業番号	4	事業名	山地治山(復旧治山)				
市町村名	飯田市	ふりがな箇所名	みわがら沢柄	事業年度	(完了年度は見込み) H24 年度 ~ H28 年度						
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	谷止工 2個、谷止工(高上げ) 1個 山腹工 0.50ha				H23年度末 事業進捗率	-				
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	-				
	H24年度実施内容	谷止工 1個、谷止工(高上げ) 1個				用地補償費ベース	-				
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残					
	事業費計(千円)	230,000			45,000	230,000					
財源内訳	国庫支出金	115,000			22,500	115,000					
	その他										
	県債	103,500			20,250	103,500					
	一般財源	11,500			2,250	11,500					
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			ランク	評点		
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上	1~9戸	0戸	A	5				
		保全対象公共施設	2箇所以上	1箇所	なし		5				
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	重要施設	一般施設	なし		0				
		保全対象(保安林・林業用施設)	「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上	保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり	保安林率30%未満		7				
		小計								17	
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去5年に1回以上	災害履歴地	なし	A	5				
		交通遮断による地域経済などへの影響	大	中	小		3				
		防災計画上の位置づけ	あり	なし			5				
		小計								13	
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C2.0以上	B/C1.0以上2.0未満	B/C1.0未満	C	7				
		早期発現度	3年未満	3年以上5年未満	5年以上		0				
		流域の総合調整	あり	なし			0				
		小計								7	
	緊急性 (25)	最寄の保全対象までの距離	50m未満	50m以上200m未満	200m以上	A	4				
		地形、地質の状況	火山噴出物、花岡岩、第3紀層、破碎帯かつ地すべり地形	火山噴出物、花岡岩、第3紀層、破碎帯	その他		3				
		平均渓床勾配(平均山腹勾配)	10°以上(30°以上)	5°~10°未満(20~30°未満)	5°未満(20°未満)		3				
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	なし	あり(概ね満砂)	あり(ポケットあり)		3				
		危険地区危険度	Aランク	Bランク	Cランク		なし	7			
		小計								20	
	計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い	市町村要望有り	特に要望ない	A	10				
		事業情報の共有	関係者以外にも周知	関係者中心に周知	特に周知していない		3				
		住民参加の状況	住民が直接参加	住民市町村意見を反映	住民意見反映していない		3				
		小計								16	
	費用対効果(B/C)		1.53	評価の合計			B	73			
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	計画地は、飯田市上村上町集落に近接する急峻な斜面で、降雨等により山腹崩壊が発生している。平成22年7月豪雨災害時に、上部山腹が拡大崩壊し土砂が一級河川上村川に流出した。その後、地元住民より既設谷止工に異常に土砂が堆積しており、今後の降雨により沢を閉塞させ土砂が人家に流出する危険があり、地元住民・飯田市(上村)より早期の対応の要望がなされた。									
	地域からの要望経緯	平成23年6月に上町自治会からの要望をうけて飯田市(上村)から要望がなされた。									
	事業説明等の経緯	飯田市の要望により現地調査を実施し、現地の状況を飯田市を通じて、平成23年7月.25日に上町自治会の総会時に説明を実施した。									
	環境・景観への配慮項目	渓床の安定を図るため、木材を利用した工法を採用する。									
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。									
特記事項	施工にあたり、飯田市・上町自治会を通じ地元住民の意見等を聞きながら工事を実施していく。過去に土砂崩壊があり、下流人家へ土砂が流出した経過がある。										
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他						
部意見	平成22年7月豪雨により、渓流内には大量の土砂が堆積しており、時期出水時には直下の人家に被害を及ぼす恐れが高いため、対策を行う必要がある。			政策評価課意見	必要性、重要性、緊急性が認められる。						